

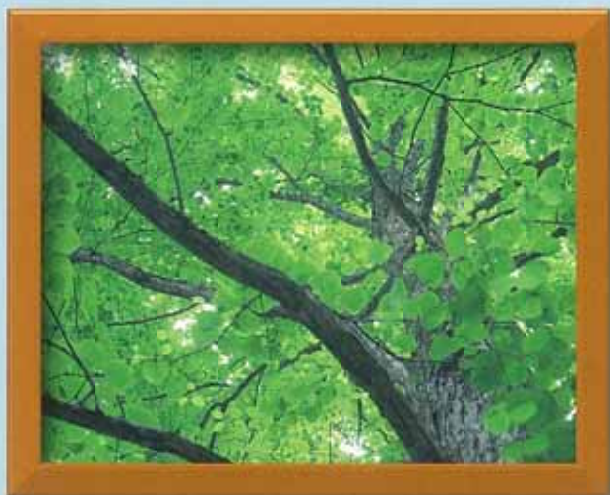
平成
21年度

第25回

京都まちとみどり



写真コンクール入選作品集



主催 京都府都市計画協会

共催 京都府
京都市
財京都府公園公社
財京都市都市緑化協会
社京都府造園建設業協会

後援 京都府市長会
京都府町村会
京都新聞社
KBS 京都
エフエム京都
NHK 京都放送局

協賛 京都府造園組合連合会
京都府写真材料商業組合
社日本植木協会京都府支部
社日本造園建設業協会京都府支部
財日本造園修景協会京都府支部
富士フイルム株式会社 (順不同)

京都まちとみどり写真コンクール

緑とオープンスペースは、大気の浄化、気温の調節など良好な環境づくりに大切な役割を果たしているほか、潤いのある生活環境の確保、レクリエーションの場の提供など多くの役割を担っており、安全で快適な都市環境の形成に欠くことのできないものです。

このような緑の重要性と都市緑化の必要性に対する理解を深めるために、10月の「都市緑化月間」を中心に、全国各地で緑と公園に関する様々な行事を行っています。

京都では、この「都市緑化月間」の行事の一つとして、「都市の緑と緑化」をテーマに、様々な切り口による京都府内の写真を募集し、「第25回京都まちとみどり写真コンクール」を行いました。特別賞として「精華町長賞」も設けられ、284点の応募作品の中から入選作品42点を選びました。

主催：京都府都市計画協会

共催：京都府・京都市

(財)京都府公園公社

(財)京都市都市緑化協会

(社)京都府造園建設業協会



第25回 京都まちとみどり写真コンクール 入選作品一覧

(敬称略)

京都府知事賞

家族の絆 湯浅登代丸

京都市長賞

跳べるかな、皆んな見てるよ 井上 重継

精華町長賞

見守る 角田 剛彦

(財)京都府公園公社理事長賞

花壇ロードのオアシス 今森 保夫

(財)京都市都市緑化協会理事長賞

みどり・水・まちの再生Ⅱ 谷口 隆捷

(社)京都府造園建設業協会会長賞

緑のカーテン 谷 八紘

京都府市長会会長賞

夏の川 伊藤 徳三

京都府町村会長賞

桜の名所にて 余田 功

京都新聞社賞

うわあ、花吹雪だ 深井 征子

KBS京都賞

熱帯夜の朝 松本常喜子

エフエム京都賞

緑と水と児童 真鍋 豊

NHK京都放送局長賞

コスモスが咲く頃 山下 文行

富士フィルム(株)賞

緑を描く 大石 政雄

優秀賞

お父さんと一休み 上門 俊夫

ハイハイ上手 北 正弘

UNDER THE TREE 疋田 真也

佳作

ゆかた流し 井上千代子

藤のトンネル 高橋 好子

夜の竹林(ライトアップ) 尾崎 恵一

緑のジュータン 水野 利彦

長い石段(山門からのながめ) 伊藤よう子

緑と水の中にて、ほっと一息 亀井 艶子

みどりの映える小川 安藤 一朗

木登り体験 小見山明敏

緑が映える水上橋 高橋 且見

思い出作り 立山 明宏

滴る緑(したたる緑) 高原 修

サギのいる風景 的場 明子

エコな暮らし 酒本 光雄

大文字山の火床 山田 祐市

竹林の七名 正木 良忠

チューリップの丘 深井 賢二

新緑の溪谷 津川 孝夫

幸せファミリー 永井真知子

白川の初夏 清水 一文

憩いの広場 谷 泰雄

小径の中の親子 廣原 佳子

ファミリープール 荒木 正義

ネギ畑からの眺望 八木 泰博

水と緑と花(3枚組) 四方 敬一

パッチワーク 佐野 敏之

水のゆるむ頃 伊木 幹治

京都府知事賞1点、京都市長賞1点、精華町長賞1点、(財)京都府公園公社理事長賞1点、(財)京都市都市緑化協会理事長賞1点、(社)京都府造園建設業協会会長賞1点、京都府市長会会長賞1点、京都府町村会長賞1点、京都新聞社賞1点、KBS京都賞1点、エフエム京都賞1点、NHK京都放送局長賞1点、富士フィルム(株)賞1点、優秀賞3点、佳作26点 合計42点



「家族の絆」湯浅 登代丸
梅小路公園（京都市下京区）



「跳べるかな、みんな見てるよ」井上 重継
府立植物園（京都市左京区）

精華町長賞



「見守る」角田 剛彦
けいはんな記念公園（精華町）

(財)京都市都市緑化協会理事長賞



「みどり・水・まちの再生Ⅱ」谷口 隆捷
堀川（京都市上京区）

(財)京都府公園公社理事長賞



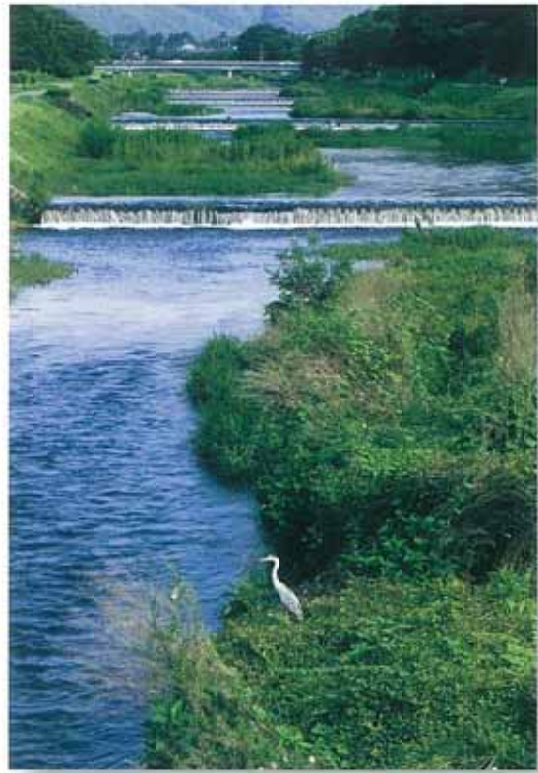
「花壇ロードのオアシス」今森 保夫
御池通（京都市中京区）

(社)京都府造園建設業協会会長賞



「緑のカーテン」谷 八紘
京都市役所（京都市中京区）

京都府市長会会長賞



「夏の川」伊藤 徳三
賀茂川北大路橋付近（京都市北区）

京都新聞社賞



「うわぁ、花吹雪だ」深井 征子
玉川（井手町）

京都府町村会長賞



「桜の名所にて」余田 功
背割堤（八幡市）

KBS京都賞



「熱帯夜の朝」松本 常喜子
南区内（京都市南区）

エフエム京都賞



「緑と水と児童」真鍋 豊
府立植物園（京都市左京区）

NHK京都放送局長賞



「コスモスが咲く頃」山下 文行
亀岡運動公園付近（亀岡市）

富士フィルム(株)賞



「緑を描く」大石 政雄
鴨川 丸太町橋付近（京都市中京区）

優 秀 賞



「お父さんと一休み」上門 俊夫
洛西ニュータウン（京都市西京区）



「ハイハイ上手」北 正弘
府立植物園（京都市左京区）



「UNDER THE TREE」疋田 真也
嵐山東公園（京都市西京区）



「ゆかた流し」井上 千代子
鴨川三条大橋付近（京都市東山区）



「藤のトンネル」高橋 好子
鳥羽水環境保全センター（京都市南区）



「緑のジュータン」水野 利彦
宇治川（宇治市）



「夜の竹林（ライトアップ）」尾崎 恵一
右京区内（京都市右京区）



「長い石段（山門からのながめ）」伊藤 よう子
知恩院（京都市東山区）



「緑と水の中にて、ほっと一息」亀井 艶子
梅小路公園（京都市下京区）



「木登り体験」小見山 明敏
梅小路公園（京都市下京区）



「緑が映える水上橋」高橋 且見
長岡天満宮（長岡京市）



「みどりの映える小川」安藤 一朗
堀川（京都市上京区）



「思い出作り」立山 明宏
府立植物園（京都市左京区）



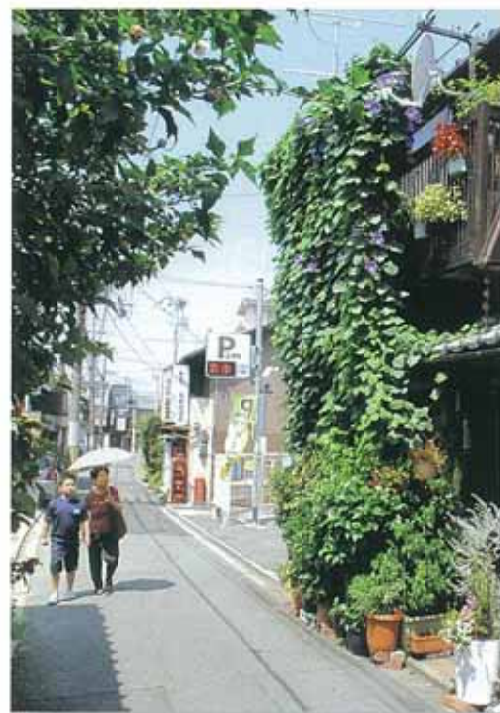
「滴る緑（したたる緑）」高原 修
京北 黒田（京都市右京区）



「サギのいる風景」的場 明子
鴨川出町柳付近（京都市上京区）



「大文字山の火床」山田 祐市
大文字山（京都市左京区）



「エコな暮らし」酒本 光雄
東山区内（京都市東山区）



「竹林の七名」正木 良忠
けいはんな記念公園（精華町）



「チューリップの丘」深井 賢二
花空間けいはんな（精華町）



「幸せファミリー」永井 眞知子
南山城村内（南山城村）



「新緑の溪谷」津川 孝夫
保津川（亀岡市）



「白川の初夏」清水 一文
白川（京都市東山区）



「憩いの広場」谷 泰雄
新風館（京都市中京区）



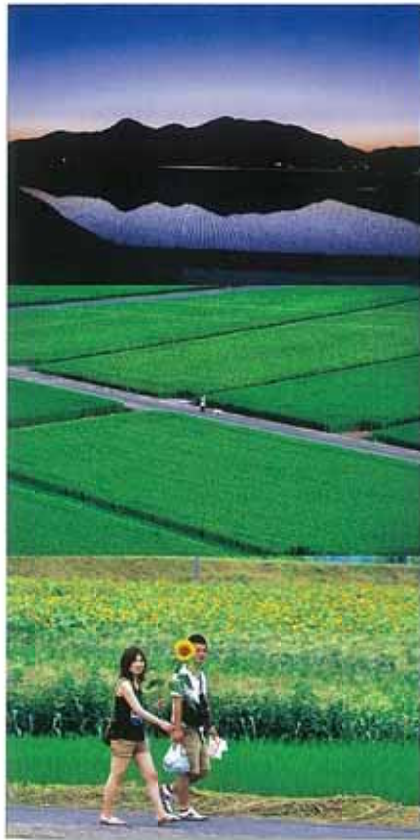
「小径の中の親子」 廣原 佳子
けいはんな記念公園（精華町）



「ファミリープール」 荒木 正義
太陽が丘（宇治市）



「ネギ畑からの眺望」 八木 泰博
精華町内（精華町）



「水と緑と花」(3枚組) 四方 敬一
綾部市内（綾部市）



「パッチワーク」 佐野 敏之
八幡市内（八幡市）



「水のゆるむ頃」 伊木 幹治
鴨川勧進橋付近（京都市南区）

第25回 京都まちとみどり写真コンクール講評

審査委員長 木村 尚達（京都写真家協会会長）

総評

カメラの普及はパソコンの普及と比例してデジタル化益々身近なものになりつつあります。当コンクールにおいてもデジタルの占める割合が年々増えつつあるのは事実でありフィルムカメラの良さを知りつつデジタルの利点に傾かざるを得ないのが現実であります。

そのような現状の中で求められるのは、最終処理までの技術の向上と「目」を養うことでもあります。今回も「不自然な色調」が際立った作品が多く見受けられました。今後、引き続き研鑽をお願いいたします。

作品の傾向としては人物を配した暖かい雰囲気の作品が多いようで、それを決して否定するものではありませんが、いわゆるしっかりした「風景写真」での応募も今後期待するところでもあります。

京都府知事賞「家族の絆」

柔らかな初夏の日差しの中、休日を公園で過ごす若い家族の幸せそうな雰囲気が漂う大変優れた作品です。緑と水の恵み、そして太陽の光、そんな環境の中で、家族の健康と子供たちの健やかな成長を願う気持ちは誰しも共感するところでしょう。半逆光で撮影された為、緑のコントラストが季節感と立体感を強調して良い効果をもたらしています。人物の配置と空間のとりかたもゆったりとした時間を感じさせてくれます。

京都市長賞「跳べるかな、みんな見てよ」

植物園での野外学習のひとつまででしょう。逆光の効果を活かされた大変写真的に技巧を要する作品です。緑と日差しの中に元気な子供の動きと水しぶきをハイスピードなシャッターでとらえた的確なカメラワークは見事なものです。右をわずかにカットすればさらに良くなったでしょう。

精華町長賞「見守る」

みずみずしい新緑の季節、美しく整備された公園施設の中で家族の風景が見事にあらわされた作品です。孫を気遣うお爺さんのポーズ、幼い子供に注がれているやさしい視線が平和な家族の絆を感じさせます。人物の位置、水面の分量、池の淵まで良い作品を引き立てています。作品左を少しカットすれば人物がもっと強調されたでしょう。

財京都市公園公社理事長賞「花壇ロードのオアシス」

広いモザイク調の歩道、美しい花壇、オシャレなパラソル、それに登場人物など京都の街角とは思えない光景です。全体にモノトーンの色調の中に花の赤が中心に配され、人物をセンターにシンメトリーに構成されたすぐれた作品です。子供の世話をやく母親、それを見つめるパパでしょうか？ヒューマンな情景もよく捉えられています。

財京都市都市緑化協会理事長賞「みどり・水・まちの再生Ⅱ」

よく整備された遊歩道が地域の人々に心地よく利用されている風景でしょう。画面には、ふんだんに緑を取り入れ都市緑化の成果をよく表わしています。さらに立葵の花が季節感を強調しており当コンテストの趣旨をよく理解された作品です。人物の通過するタイミングが少し遅かったように思われますが、「歩道を見せるという観点」からすればやむを得ないかもしれません。

社京都府造園建設業協会賞「緑のカーテン」

コンクリートの建物に這い上がった蔓植物をモチーフに、赤い服の人物を適切に配した洗練された作品です。エコロジーが叫ばれる近年、ますます地球環境に配慮した活動を推し進めなければならない現状を考えると大変的を射た啓蒙的な作品でもあります。ただ強い日差しと影があればもっと効果的な表現になったでしょう。

京都府市長会賞「夏の川」

都会の喧騒を全く感じさせない美しい風景写真に仕上がっています。画面中央に鶯を配し、水色、緑色、白色のみのシンプルな色彩で統一されているところなど写真的に好感の持てる作品です。環境を保つ観点からも次の世代に残し継ぎたい京都の光景です。

京都府町村会長賞「桜の名所にて」

お花見の楽しい雰囲気が伝わってきます。待ちに待った春の到来を謳歌する人々の中にひときわ高い声が湧きあがり、飛び跳ねる若人たち。思わず写真を観る人の顔がほころびストリートに青春の活力が伝わってくる清々しい作品です。多分、ジャンプは演出でしょうが本物の笑顔が作品を支えています。

京都新聞社賞「うわあ、花吹雪だ」

黒い舗装道路を真っ白に染めた桜の花びら。まさに桜のトンネルを駆け抜ける元気な子供たちの姿と、やさしいまなざしで後から追いかけるお母さん。穏やかな春の光線がひときわ平和で幸せな様子を引き立てています。天か地、いずれかを少し詰めれば人物が強調されると思います。

KBS京都賞「熱帯夜の朝」

寝苦しい熱帯夜を過ごされた朝、風に揺れる向日葵の花が一瞬の涼しさを感じさせてくれます。屋上から見える風景は都会のコンクリートと鉄骨ばかり。忙しそうに走る電車とまばゆく差し込む夏の日射しが時刻をよく表現しています。屋上庭園が人々のところに安らぎを提供してくれている姿をよく伝えています。

エフエム京都賞「緑と水と児童」

公園での課外教育の楽しいひと時をカメラに収められたのでしょうか。明るい声が聞こえてきます。構図的に緑、黄、白、藍色と横のラインで整理されており、子供たちの後姿のみで表情は見えませんが、絶好の天気にも恵まれ発色効果のよく出たカラフルな作品に仕上がっています。右端を少しカットすればもっと良くなったでしょう。

NHK京都放送局長賞「コスモスが咲く頃」

咲き乱れるコスモスの中、若い家族が幸せを感じながら休日を満喫している様子が伝わってきます。色とりどりの花と緑の中に適切な位置に人物を配置しており、足の動きも良いタイミングでとらえています。あと一步、母親の視線が子供に注がれていたらもっと高く評価されたでしょう。

富士フィルム株賞「緑を描く」

画面の中心に白いキャンバスと人物を配置した大胆な構図が写真的に大変魅力のあるものになっています。また全体に色数を抑え、モノトーンに近い表現が何か深いものを感じさせます。賀茂川の散歩道での何気ない光景を淡々と撮影する事が、こんなに素敵な作品になることを改めて感じました。キャンバスのトーンに露出を合わせた為に樹木の緑が重くなったことが少し残念です。

優秀賞「お父さんと一休み」

お買物の途中ででしょうか？お母さんを待つ二つのベンチ。状況はともあれ、タイトル張りの人工的で無機質な空間を覆うような樹木と花。植物が人間の生活に欠かすことのできないものであることは誰しも知るところではありますが、作者は画面の大胆な構図で、植物の大切さと緑化の推進を写真でよびかけています。

優秀賞「ハイハイ上手」

柔らかい光線のなか、ほほえましい植物園の光景でしょうか？色彩的にも整理された好感の持てる作品です。人物の配置も画面を三等分し、みどりの帯の配分も適切です。しかしながらカメラを持った女性の視線が子供に注がれて居ない点が作品を弱くしているようです。

優秀賞「UNDER THE TREE」

ある休日の公園、子供と野球を楽しむお父さんや、それぞれの休日を過ごす人々が画面で伺えます。緑の日陰を手前に日当たりを覗くような構成は大変優れています。人物の配置も適切ですがトリミングに細心の注意を払われたらさらに良くなったでしょう。

ひろげよう
育てよう
みどりの都市



第25回京都まちとみどり写真コンクール入選作品集

平成22年3月発行

発行・編集／京都府都市計画協会・財京都市都市緑化協会 印刷／株式会社廣済堂